

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-6-5
Tel 03-3201-0350 FAX 3201-0351
Eメール jrroukairou@yahoo.co.jp

2019年
3月1日
第409号



http://www.geocities.jp/jrroukairou/

J R東海労働組合

発行人 木下 和樹
編集人 高山 浩

2019 J R 総連春闘勝利！ 職場から闘おう！

第32回定期中央委員会開催



J R 総連第41回定期中央委員会、統一ベア要求を6,000円とし、



春の闘いで組織・強化を勝ち取ろう！

木下中央執行委員長挨拶

J R 東海労は2月11日、名古屋市中で第32回定期中央委員会を開催しました。委員会には90名が参加しました。議長に、板倉中央委員(東京車両所分会)を選出しました。木下委員長挨拶の後、来賓よりJ R 総連榎本委員長から連帯の挨拶を受けました。ベア6,000円、定昇1乗数1,500円(4乗数で6,000円)の賃上げ要求の満額獲得をはじめ、本人の同意なき一方的な休日出勤指定・年休失効反対の闘い、改憲反対の闘い、安全確立の闘い、リニア中央新幹線建設反対の闘いなどの方針を満場一致で確認しました。

統一要求・統一闘争として闘い抜くことが確認されました。J R 東海労は、2019 J R 総連春闘を職場から闘います。憲法改悪のための国民投票が、政治日程にのぼっています。安倍首相は「自衛隊に関する憲法解釈は一切変わらない、自衛隊の違憲状態を解消するのだ」と強調しています。自衛隊が憲法上の機関に位置づけられると、防衛権が独立するといった過言でしょうか。集団的自衛権の行使を容認する安全保障関連法に基づき、アメリカ軍と一体化して、日本の防衛と称して、他国を攻撃し、自衛隊が他国の住民を殺傷するときに来るかもしれない。私たちは戦争に勝つこともありません。私たちが戦争に勝つこともありません。憲法改正の国民投票で「反対」の意思表示をする仲間をつくり出し、連帯を広げましょう。4月から実施の働き方

改革法に基づく、労働時間法の見直しは、企業の規制緩和策であり、経営者にとつての柔軟な働き方です。今回の労働規制緩和は「アリの穴」です。これ以上の労働規制緩和を許さないために、いかに歯止めをかけるか、労働者にとつて働き方はどうあるべきなのか、考えていく必要があります。新しい人事賃金制度の施行から10年以上が経過し、会社は高齢者雇用制度や賃金制度を改変しようとする目論みがあります。本部は2通の申し入れを出し、会社と議論してきています。交渉を通じて会社の改変の意図を暴き出し、制度改悪を許さない闘いを職場から展開しなければなりません。私は、昨年9月に開催されたICLSのフォーラムで、「運輸産業の自動化」というセッションで発言しました。その内

容は「新幹線車内での焼身自殺、殺傷事件において、J R 東海労は事件の防止を会社に求めています。会社は安全より利便性優先です。人には人がサービスを行うのが基本。様々な技術が進んだといえども、人によるサービスを全て機械、システムに代替させることはできない」です。今年に入って、新幹線で「車体傾斜」関係のアラームにより停止、運休する事態がすでに2件発生しました。原因と対策が、会社と組合、あるいは現場社員と共有されなければなりません。タイムな作業時間でマニュアル優先の作業、判断より迅速・正確な報告のため、何か変だと感じたら列車を止める、あるいは入念に点検を試みるという風土が確立されません。運行・営利優先、責任追及と処分では真の安全確立はできません。昨年は災害が多い年でした。一つひとつの災害から学び、災害から命を守る、生活を守る対策を立てなくてはなりません。台風24号での「計画運休」は画期的でした。しかし、長時間の乗務員の待機や作業間合いが発生しました。会社は、鉄道労働者の宿命である列車運行に合わせた労働という特殊性を剥奪しようとしています。つまり、ノーワーク・ノーペイを

徹底するということですが。労働の特殊性の剥奪を許さず、反対の声を大きくしていきたいでしょう。「本人の同意なき一方的な休日出勤指定」反対の闘いは、第34回臨時大会で確認しました。2月の休日出勤指定の状況は、大阪第一、二運輸所では休日出勤指定はありません。東京第一、二運輸所では11名が1月25日の時点で休日出勤を指定されましたが、5日前の勤務確定で休日勤務がほとんど解除になりました。職場から議論をつくり出し、年休裁判の闘いも絡めて、決して無駄ではなかったのではないかと考えています。J R 総連定期中央委員会の総括答弁で「休日出勤についての社会問題化するための闘いを、J R 総連全単組に波及させたい」と、柳書記長は述べました。この闘いをJ R 総連と共に闘います。新幹線車掌乗り組みの変更から、ほぼ1年経過しました。車掌2人乗務でも、旅客サービスを維持し、安全を確保できるとする会社の思惑は破綻しました。これについて検証し、車掌3人体制に戻す闘いをつくり出す必要があります。2019 J R 春闘を通じて、J R 総連の総団結、J R 東海労の組織強化・拡大を勝ち取りましょう。

2019 JR総連春闘を果敢に闘おう!

JR総連榎本委員長挨拶



今春闘の特徴として、経団連は官製春闘からの脱却を宣言しました。ベア中心の賃上げ見直し、個別企業の実情に応じた賃金体系を宣言し、その上に立って、多様な働き方改革について言及しています。

連合は、上げ幅追求から働きの価値に見合った賃金水準を主張しています。JR総連は、働く者の立場に立ち、非正規労働者を正規労働者にする闘いなども追求していきます。

私たちは、安倍政権が目指す憲法改正が、今より民主主義になるのか、平和の国になるのか、基



板倉議長

賃上げ満額獲得! 一方的休日出勤を許すな! 11名の中央委員が積極的発言

◆賃上げ満額獲得に向け、職場から闘いをつくり上げる。
◆本人の同意なき一方的な休日出勤指定を許さない闘いで、新聞うずみ火、全港湾、自治労、貨物労組、撰津平和人権センタ

本的人権が守られるのか、人間であることが保障されるのか、そういういくつかの観点を改正の価値基準として見ていかなければなりません。政治とは人間社会秩序の形成にあります。

また国民が幸せに、平和に暮らせるサービス機関でなければなりません。それ求めない安倍

政治には、対決しなければなりません。安倍政権は「国民に圧力、アメリカに活力」。つまりアメリカ従属の政治をやっているから、主権者は国民ではありません。

2019 JR総連春闘では、①賃金引き上げ、②労働条件・職場環境改善、③安全確立、④一切の組織破壊攻撃を跳ね返す闘い、⑤改憲阻止、平和・人権・民主主義を守る闘いの5つの柱で闘います。そして、闘いの過程で組織強化・拡大を勝ち取ることで、JR東海労は、統一要求・統一闘争で闘います。

一方会社は、特殊勤務手当の定額化など、人事・賃金制度の改悪を目論んでいます。これは賃金差別を通じた労働者の分

断、社員間の競争をより一層煽り「命令と服従」をさらに浸透させます。私たちは、こうした攻撃を打破するため、職場から創意工夫した闘いを展開しなくてはなりません。

「安倍一強」といわれる政治状況の中で、改憲がされると世界に誇る平和憲法は消え去り、国民の基本的人権に大きな制限が加えられることになり、私たちは、憲法改悪を許すわけにはいきません。まずは改憲発議をさせないためにどうするのか、発議された場合、国民投票に向けてどうするのか、改憲に反対する声を大きくするしかないのです。私たちが労働組合として活動できるのも憲法があるからこそなのです。職場・地域から平和・人権・民主主義を守る闘いを強化していかなくてはなりません。

職場から春の闘いをつくり出そう!

本橋書記長総括答弁

◆特勤手当が安くなれば休日出勤をやる人が増えるのではないかと。お金は魅力的だと思ふ。しかし、事故を起こせば責任は自分持ち。自分の首を絞めることになる。会社の迷惑通りにしてはならない。

◆新役員体制になり、活動が見えるように情報化し、職場内で広めてきた。申し入れは14号まで行った。トイレ増設を勝ち取った。

◆不適切動画が問題視されている一方、「制服で飲みに行く」ことを認めている会社。会社の馬鹿さ加減を暴露する情報を発行した。

◆昨年災害が多い年だった。安全確立の闘いと、南海トラフ地震で業務委員会を開催し、跨り線橋が流されては助からないと対策を追求した。



対の闘いは、下からつくり上げてきた。OBにも一緒に闘ってもらおう。